

**令和8年度
専攻科学生募集要項
入学案内
(出願書類添付)**

推薦による選抜	出 願 期 間	令和7年 4月21日(月)～ 4月28日(月)
	検 査 日	令和7年 5月10日(土) ※予備日5月24日(土)
	合 格 発 表 日	(予備日入試が無い場合)令和7年5月16日(金) (予備日入試が有る場合)令和7年5月30日(金)
	入学確約書提出期限	令和7年 6月 6日(金)
九大工学部・九州 沖縄9高専連携教育 プログラム	出 願 期 間	令和7年4月21日(月)～4月28日(月)
	検 査 日	第一次選抜(都城高専):令和7年5月16日(金) ※予備日:5月24日(土) 第二次選抜(九州大学):九大募集要項による※
	合 格 発 表 日	第一次選抜(都城高専):上記「推薦による選抜」と同じ 第二次選抜(九州大学):九大募集要項による※
	入学確約書提出期限	第一次選抜(都城高専):令和7年 6月 6日(金) 第二次選抜(九州大学):九大募集要項による※
前 期 学 力 選 抜	出 願 期 間	令和7年 6月 2日(月)～6月 6日(金)
	検 査 日	令和7年 6月14日(土) ※予備日6月21日(土)
	合 格 発 表 日	(予備日入試が無い場合)令和7年6月20日(金) (予備日入試が有る場合)令和7年6月27日(金)
	入学確約書提出期限	令和7年 7月 4日(金)
後 期 学 力 選 抜	出 願 期 間	令和7年 8月18日(月)～ 8月22日(金)
	検 査 日	令和7年 8月29日(金) ※予備日9月12日(金)
	合 格 発 表 日	(予備日入試が無い場合)令和7年9月 5日(金) (予備日入試が有る場合)令和7年9月22日(月)
	入学確約書提出期限	令和7年 9月30日(火)
社会人特別選抜	出 願 期 間	令和7年 8月18日(月)～8月22日(金)
	検 査 日	令和7年 8月29日(金) ※予備日9月12日(金)
	合 格 発 表 日	(予備日入試が無い場合)令和7年9月 5日(金) (予備日入試が有る場合)令和7年9月22日(月)
	入学確約書提出期限	令和7年 9月30日(火)

独立行政法人 国立高等専門学校機構 都城工業高等専門学校

〒885-8567 都城市吉尾町473番地の1

TEL:(0986)47-1133(学生課) FAX:(0986)47-1143(学生課)

メールアドレス:g-hosa@jim.miyakonojo-nct.ac.jp(学生課) ホームページアドレス:https://www.miyakonojo-nct.ac.jp

※九大募集要項:「令和8(2026)年度九州大学工学部編入学 九大工学部・九州沖縄9高専連携教育プログラム特別選抜 学生募集要項」

目 次

	ページ
令和8年度 専攻科学生募集要項	
令和8年度専攻科選拔出願等の流れ	1
I. 募 集 定 員	2
II. 専攻科の入学受入れ方針（アドミッションポリシー）	2
III. 「生産デザイン工学」プログラム修了要件の確認について	3
IV. 推薦による選抜	4
1. 出願資格	
2. 出願手続	
3. 選抜方法	
4. 選抜の日時及び場所	
5. 合格者の発表	
6. 身体に障がいのある入学志願者の事前相談	
7. 入学確約書の提出	
8. 推薦による選抜で合格とならなかった者の取り扱い	
V. 九大工学部・九州沖縄9高専連携教育プログラムについて	7
1. 名称	
2. 概要	
3. 開始年度	
4. 修業年限	
5. 募集人員	
6. 出願資格	
7. 出願期間	
8. 選抜の日時	
9. 検定料	
10. 選抜方法	
11. 提出書類	
12. 合格者の発表	
13. 入学確約書	
14. 個人情報の取扱いについて	
15. 第二次選抜（九州大学）の結果、合格とならなかった場合の取り扱い	
VI. 学力による選抜	9
〔前期学力選抜〕	
1. 出願資格	
2. 出願手続	
3. 選抜方法	
4. 選抜の日時及び場所	
5. 合格者の発表	
6. 身体に障がいのある入学志願者の事前相談	
7. 入学確約書の提出	
〔後期学力選抜〕	
1. 出願資格	
2. 出願手続	
3. 選抜方法	
4. 選抜の日時及び場所	
5. 合格者の発表	
6. 身体に障がいのある入学志願者の事前相談	
7. 入学確約書の提出	

VII. 社会人特別選抜	13
1. 出願資格	
2. 出願手続	
3. 選抜方法	
4. 選抜の日時及び場所	
5. 合格者の発表	
6. 身体に障がいのある入学志願者の事前相談	
7. 入学確約書の提出	
VIII. 入学手続	15
IX. 募集要項の請求	15
X. その他	15

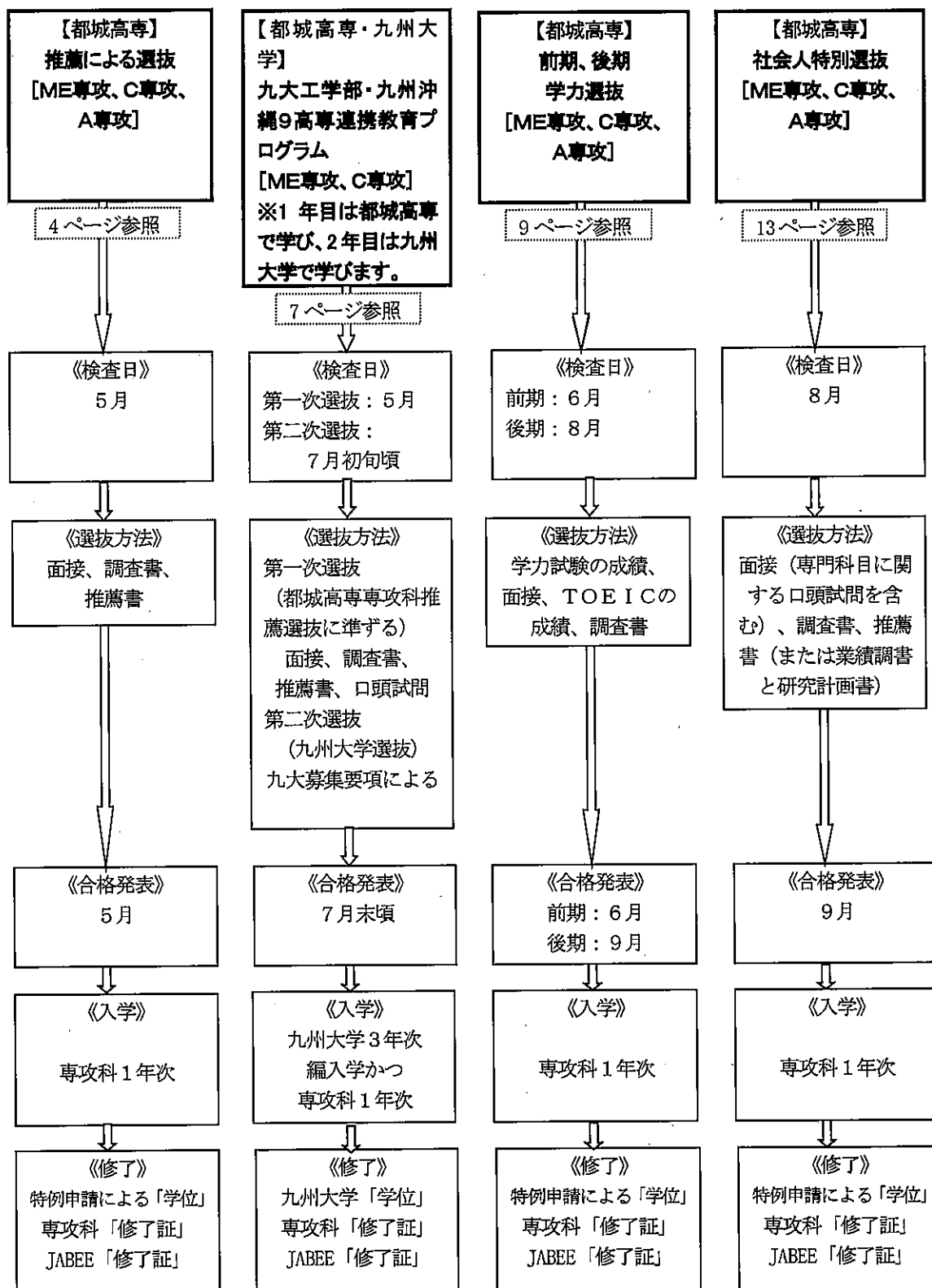
入 学 案 内 16

1. 専攻名及び入学定員
2. 修業年限及び修了要件（都城工業高等専門学校専攻科）
3. 修業年限及び修了要件（九大工学部・九州沖縄9高専連携教育プログラム）
4. 都城工業高等専門学校専攻科三つの方針
5. 主な経費（都城工業高等専門学校専攻科）
6. 主な経費（九大工学部・九州沖縄9高専連携教育プログラム）
7. 入学料・授業料免除制度（都城工業高等専門学校専攻科）
8. 入学料・授業料免除制度（九大工学部・九州沖縄9高専連携教育プログラム）
9. 奨学金制度（都城工業高等専門学校専攻科）
10. 奨学金制度（九大工学部・九州沖縄9高専連携教育プログラム）
11. 学生寮
12. ノート型パソコンの必携について（九大工学部・九州沖縄9高専連携教育プログラム）
13. 大学院への進学
14. 専攻科教育課程表
15. 九大工学部・九州沖縄9高専連携教育プログラム教育課程表
16. 学校案内図

令和 8 年度専攻科選拔出願等の流れ

◎令和 5 年度から、専攻科選抜に「九大工学部・九州沖縄 9 高専連携教育プログラム」が導入され、各選抜の出願等の流れは下記のとおりとなります。なお、「九大工学部・九州沖縄 9 高専連携教育プログラム」の学生は、都城工業高等専門学校専攻科と九州大学双方に在籍し、双方の教育課程（九大工学部・九州沖縄 9 高専連携教育プログラム用）を受講します。

※ME 専攻：機械電気工学専攻、C 専攻：物質工学専攻、A 専攻：建築学専攻



令和8年度 専攻科学生募集要項

I. 募集定員

専攻	定員
機械電気工学専攻	8人
物質工学専攻	4人
建築学専攻	4人
計	16人

II. 専攻科の入学者受入れ方針(アドミッションポリシー)

1. 求める学生像

専攻科では、修了認定の方針(ディプロマ・ポリシー)に示す能力を持った学生を育成するために、教育課程編成の方針(カリキュラム・ポリシー)に定める教育を実施します。この教育に相応しい人材を以下に示します。

- (1) 科学と工学の基礎学力を十分に身につけている人
- (2) より高い専門的な技術を磨く意欲のある人
- (3) 技術者として地域社会および国際社会の発展に貢献できる素養のある人
- (4) 社会性と倫理観をもち、自主的に行動できる人

2. 入学者選抜の基本方針と選抜方法

1に示す人材を確保するために、高等専門学校卒業見込者で成績優秀者を対象に推薦選抜試験を、また高専や短期大学等卒業者(卒業見込者を含む)等を対象に学力選抜試験を行います。さらに、高専等の既卒者で、社会人としての実務経験を有する者を対象とする社会人特別選抜試験を行います。なお、選抜の詳細は本入学案内19、20ページにある「三つの方針」の【専攻科】アドミッションポリシーをご覧ください。

選抜の種類	選抜期日
1 推薦による選抜	令和7年5月10日(土) (予備日: 5月24日(土))
2 学力による選抜	
① 前期学力選抜	令和7年6月14日(土) (予備日: 6月21日(土))
② 後期学力選抜	令和7年8月29日(金) (予備日: 9月12日(金))
3 社会人特別選抜	令和7年8月29日(金) (予備日: 9月12日(金))

第2次入学者選抜の実施に関する詳細情報

令和7年11月以降に本校のホームページに掲載する。

(前期・後期・社会人特別選抜の結果、募集定員に満たない時に実施する場合があります。)

Ⅲ.「生産デザイン工学」プログラム修了要件の確認について

「生産デザイン工学」プログラムについては、18頁を参照

(注)

専攻科入試(推薦選抜入試、学力選抜入試、社会人特別選抜入試)において、「他高専からの出願者」、「社会人特別選抜入試の出願者」については、出願開始までに、下記の手続きにより「授業科目の読み替え」に関する個別審査を受ける必要があります。

個別審査では、プログラム修了要件を満たすことが可能かどうかを審査します。

記

1. 出願開始日の2週間前(学力選抜(前期):5月19日(月)、学力選抜(後期・社会人):8月4日(月))までに、出身高専等の「成績証明書」、「シラバス」等を本校学生課へ提出すること。

なお、5年生で履修中の科目については「成績証明書」の該当科目に○印をつけること。

2. 他高専からの出願の場合は、合格後に科目の読み替えを行います。

IV. 推薦による選抜

1. 出願資格

次の各号のすべてに該当する者

- (1) 令和8年3月に高等専門学校を卒業見込みの者で、学校長（都城工業高等専門学校の場合は5年学級担任）が学業成績及び人物とも優れていると認め推薦する者
- (2) 出身の高等専門学校の3年次における席次を学級現員数（留学生数を除く）で除して得た割合（以下「席次率」という。）及び4年次における席次率の平均値が50%以内で、かつ、4年次における席次率が50%以内である者
- (3) 4年次編入学生の場合は、4年次における席次率が50%以内である者
- (4) TOEIC テストのスコアが350点以上の者
- (5) 本校に合格した場合、確実に入学する意思がある者

2. 出願手続

- (1) 願書受付

期 間： 令和7年4月21日（月）～ 4月28日（月）
 （郵送の場合も、4月28日必着とします。）
 時 間： 午前9時から午後5時まで
 場 所： 都城工業高等専門学校 学生課
 〒885-8567 都城市吉尾町473番地の1

※① 郵送の場合は、必ず書留としてください。

- ② 郵送の場合は、長3サイズの封筒に受験者の住所及び氏名を記入し、速達料金410円切手を貼ったものを同封してください。

- (2) 出願に必要な書類等

出願書類等	摘 要
入 学 願 書	本校所定の用紙により、必要事項を記入してください。
調 査 書	本校所定の用紙により、出身学校長が作成し厳封してください。
推 薦 書	本校所定の用紙により、出身学校長（本校の場合は5年学級担任）が作成してください。
TOEICの 公式認定証等	出願日からさかのぼって1年以内のTOEIC公開テストの公式認定証又はTOEIC-IPT テストの個人成績表のコピー ※それが本人のスコアであることを所属機関が証明するものを添付してください。
受験写真票 受 験 票	写真（縦4cm×横3cm）は、出願以前3か月以内に撮影した正面・上半身・脱帽・無背景のものを所定の位置に貼付してください。
検 定 料	検定料16,500円は、本校所定の「振込依頼書」により志願者本人の氏名で、金融機関（ゆうちょ銀行では口座からの振込みはできませんが、現金による振込みはできません。）の窓口で振込みください。振込み後、取扱銀行出納印のある「振込金受付証明書」を「振込金受付証明書貼付用紙」に貼ってください。 ゆうちょ銀行から振込んだ場合は、ゆうちょ銀行出納印のある「振込依頼書（お客さま控）」を提出してください。
あて名票	志願者本人及び出身高専等の住所・郵便番号等を記入してください。
そ の 他	現在、日本国内に在住する外国人は、市町村長が発行する「外国人登録済証明書」を提出してください。

(3) 出願に関する注意事項

- ① 出願書類の不備なものは受け付けできません。
- ② 提出した出願書類に虚偽の記載があった場合は入学後であっても入学を取り消すことがあります。
- ③ 願書提出後の記載事項の変更は認めません。
- ④ 受理した出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。
- ⑤ 納付された検定料の返還請求ができるのは、次の場合になります。なお、返還の際には振込手数料を差し引いた金額での振込となります。

・検定料を納付したが出願しなかった場合

・検定料を重複で納付した場合

上記の場合は、本校学生課（TEL 0986-47-1133）までご連絡ください。

⑥ 災害により被災したことによる入学志願者の検定料免除について

入学志願者のうち、出願する入学者選抜の種類に応じ、当該種類の前年度入学者選抜試験実施日から、当該年度入学者選抜試験実施日の前日までの間において、次の各号のいずれかに該当する者を対象として、出願する入学者選抜において、検定料免除申請書及び添付書類を提出したときは検定料を全額免除します。

詳細については、本校ホームページを御覧ください。

- 1) 本人又は学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という。）の居住地が災害による被災に伴い災害救助法の適用を受け、居住する家屋が半壊以上（床上浸水含む。）の被害を受けた場合
- 2) 学資負担者が災害救助法の適用を受けた地域で被災し、死亡（行方不明を含む。）した場合

本免除を希望する場合には、事前に本校学生課（TEL 0986-47-1133）までご連絡ください。

3. 選抜方法

入学者の選抜は、面接、調査書及び推薦書の結果を総合して行います。

4. 選抜の日時及び場所

日 時	科 目	時 間	場 所
令和7年5月10日(土)	面 接	10:30～	都城工業高等専門学校

(注) 開始30分前までに本校の指定する場所に集合してください。

※受験者のうちインフルエンザ又は新型コロナウイルスに罹患している者若しくは新型コロナウイルスの感染拡大により本校が入試を実施できない場合については、予備日（5月24日（土））に実施します。

5. 合格者の発表

（予備日入試が無い場合）令和7年5月16日（金） 午前10時

（予備日入試が有る場合）令和7年5月30日（金） 午前10時

可否の結果は文書で通知します。

また、同時刻にインターネット上の都城高専ホームページ（<https://www.miyakonojo-nct.ac.jp>）で合格者の受験番号を発表します。

（電話等による可否の問い合わせには一切応じられません。）

6. 身体に障がいのある入学志願者の事前相談

身体に障がいのある志願者で、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする者は、出願に先立ち、あらかじめ電話で本校学生課まで申し出てください。

相談の時期：令和7年4月25日（金）まで

7. 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、令和7年6月6日(金)までに「入学確約書」を提出してください。
入学確約書を提出しなかった者は、本校への入学の意思がないものとして取り扱います。

8. 推薦による選抜で合格とならなかった者の取り扱い

推薦による選抜の結果、合格とならなかった者で学力による選抜の受験を希望する者は、改めて学力選抜の出願手続きを行ってください。

ただし、調査書及び外国人登録済証明書は再提出不要です。

V. 九大工学部・九州沖縄9高専連携教育プログラムについて

1. 名称

九大工学部・九州沖縄9高専連携教育プログラム

2. 概要

都城工業高等専門学校専攻科に入学する学生を対象に、都城工業高等専門学校と九州大学が連携・協力して実施する教育プログラム（以下「連携教育プログラム」という。）です。

連携教育プログラムの学生は、都城工業高等専門学校専攻科と九州大学双方に在籍し、双方の教育課程（連携教育プログラム用）を受講します。

連携教育プログラムの所定の課程を修了した者には、九州大学から「学位」が授与され、都城工業高等専門学校から専攻科「修了証」が交付されます。

3. 開始年度

2023年度（令和5年度）

（九州大学3年次編入学、かつ都城工業高等専門学校専攻科1年次入学）

4. 修業年限

原則2年間（最長4年間まで延長可、ただし休学期間は除く）

5. 募集人員

都城工業高等専門学校専攻科

機械電気工学専攻 九大工学部・九州沖縄9高専連携教育プログラム 若干名

物質工学専攻 九大工学部・九州沖縄9高専連携教育プログラム 若干名

6. 出願資格

- (1) 高専本科卒業または見込者 かつ 都城工業高等専門学校専攻科の推薦選抜対象者
- (2) 連携教育プログラムへの入学確約ができる者
- (3) 原則として、願書出願時に九州大学及び都城工業高等専門学校の研究指導予定教員から受入の内諾を得ている者

7. 出願期間

令和7年4月21日（月）～4月28日（月）

8. 選抜の日時

- (1) 第一次選抜（都城工業高等専門学校専攻科）
令和7年5月10日（土）（予備日5月24日（土））
- (2) 第二次選抜（九州大学）
九大募集要項による。

9. 検定料

30,000円

※第二次選抜に係る検定料を含み、連携教育プログラム用の「振込依頼書」を使用すること。

10. 選抜方法

- (1) 第一次選抜（都城工業高等専門学校専攻科）
都城工業高等専門学校専攻科の推薦選抜に準ずる（含 口頭試問）
- (2) 第二次選抜（九州大学）

九州大学は、第一次選抜の合格者を対象に、第二次選抜（特別選抜）を実施し、選抜方法は、九大募集要項による。

11. 提出書類

- (1) 第一次選抜（都城工業高等専門学校専攻科）
入学願書、調査書、推薦書、受験写真票・受験票、あて名票〔都城高専推薦選抜用〕、
TOEICの公式認定証等、振込依頼書〔連携教育プログラム用〕
- (2) 第二次選抜（九州大学）
九大募集要項による。

12. 合格者の発表

- (1) 第一次選抜（都城工業高等専門学校専攻科）
(予備日入試が無い場合) 令和7年5月16日（金） 午前10時
(予備日入試が有る場合) 令和7年5月30日（金） 午前10時
- (2) 第二次選抜（九州大学）
九大募集要項による。

13. 入学確約書

- (1) 第一次選抜（都城工業高等専門学校専攻科）
合格通知を受けた者は、令和7年6月6日（金）17時までに、「入学確約書」を学生課に提出してください。
- (2) 第二次選抜（九州大学）
九大募集要項による。

14. 個人情報の取扱いについて

入学志願者から提出された入学願書や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた試験成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として利用されるとともに、次の目的のためにも使用しますので、ご了承ください。

- (1) 入学後の教育・指導
- (2) 入学料、授業料の免除申請及び奨学金申請の審査
- (3) 本校及び九州大学、国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

15. 第二次選抜（九州大学）の結果、合格とならなかった場合の取り扱い

都城工業高等専門学校専攻科への入学となります。

VI. 学力による選抜

〔前期学力選抜〕

1. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 高等専門学校を卒業した者（令和8年3月卒業見込みの者を含む。）
- (2) 短期大学を卒業した者（令和8年3月卒業見込みの者を含む。）
- (3) 専修学校の専門課程を修了した者のうち学校教育法第132条の規定により大学に編入学することができる者
- (4) 外国において、学校教育における14年の課程を修了した者
- (5) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における14年の課程を修了した者
- (6) 我が国において、外国の短期大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (7) その他、本校の専攻科が高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

2. 出願手続

(1) 願書受付

期 間： 令和7年6月2日（月）～ 6月6日（金）

（郵送の場合も、6月6日必着とします。）

時 間： 午前9時から午後5時まで

場 所： 都城工業高等専門学校 学生課 〒885-8567 都城市吉尾町473番地の1

※① 郵送の場合は、必ず書留としてください。

② 郵送の場合は、長3サイズの封筒に受験者の住所及び氏名を記入し、速達料金410円切手を貼ったものを同封してください。

(2) 出願に必要な書類等

出願書類等	摘 要
入学願書	本校所定の用紙により、必要事項を記入してください。
調 査 書	① 本校所定の用紙により、出身学校長が作成し厳封してください。 ② 出願資格(3)により出願する者は、次の証明書を添付してください。 ア 専修学校が発行する修業年限2年以上で、修了に必要な総授業時間数が1700時間以上の専門課程を修了したことを証明する証明書 イ 専修学校の専門課程における学科の分野や履修内容が確認できる書類 ③ 出願資格(4)(5)により出願する者は、出願資格にかかる最終学校の成績証明書を添付してください。
TOEICの 公式認定証等	出願日からさかのぼって1年以内のTOEIC公開テストの公式認定証又はTOEIC-IPT テストの個人成績表のコピー ※それが本人のスコアであることを所属機関が証明するものを添付してください。
受験写真票 受 験 票	写真（縦4cm×横3cm）は、出願以前3か月以内に撮影した正面・上半身・脱帽・無背景のものを所定の位置に貼付してください。
検 定 料	検定料16,500円は、本校所定の「振込依頼書」により志願者本人の氏名で、金融機関（ゆうちょ銀行では口座からの振込みはできませんが、現金による振込みはできません。）の窓口で振込みください。振込み後、取扱銀行出納印のある「振込金受付証明書」を「振込金受付証明書貼付用紙」に貼ってください。 ゆうちょ銀行から振込んだ場合は、ゆうちょ銀行出納印のある「振込依頼書（お客さま控）」を提出してください。

成績証明書	※他高専からの出願者のみ。 (前期) 5月19日(月) 提出期限。 (後期) 8月 4日(月) 提出期限。
出願承諾書	本校所定の用紙により、企業等の所属長が作成してください。 (企業等に在職したまま入学を希望する者のみ)
あて名票	志願者本人及び出身高専等の住所・郵便番号等を記入してください。
その他	現在、日本国内に在住する外国人は、市町村長が発行する「外国人登録済証明書」を提出してください。

- (3) 出願に関する注意事項
推薦による選抜に同じ(5頁参照)

3. 選抜方法

入学者の選抜は、学力試験の成績、面接、TOEICの成績及び調査書の結果を総合して行います。

○ 学力検査の出題科目

試験科目	摘 要
英 語	TOEICのスコアを100点満点に成績換算する。 (TOEICのスコア350点が60点となる換算式により換算)
数 学	微分積分学・微分方程式(ラプラス変換を含む)・線形代数
専 門	次の①②のうちいずれかを選択 ①材料力学、水力学、熱力学、機械工作法及び材料学 ②電気磁気学、電気回路、電子回路及び情報の4科目中2科目を選択 (※選択した2科目を願書に記入すること。)
	物 質 工 学 基礎化学(有機化学、無機化学、物理化学)、生物化学及び化学工学
	建 築 学 建築計画、建築環境工学及び建築構造力学

(注) 目盛付定規及び電卓の使用を許可することがありますので、準備してください。プログラム機能付きの電卓は不可。

4. 選抜の日時及び場所

日 時	科 目	時 間	場 所
令和7年6月14日(土)	数 学	9:10~10:40	都城工業高等専門学校
	専門科目	11:00~12:40	
	面 接	14:00~	

(注) 開始30分前までに本校の指定する場所に集合してください。

※受験者のうちインフルエンザ又は新型コロナウイルスに罹患している者若しくは新型コロナウイルスの感染拡大により本校が入試を実施できない場合については、予備日(6月21日(土))に実施します。

5. 合格者の発表

(予備日入試が無い場合) 令和7年6月20日(金) 午前10時

(予備日入試が有る場合) 令和7年6月27日(金) 午前10時

可否の結果は文書で通知します。

また、同時刻にインターネット上の都城高専ホームページ (<https://www.miyakonojo-nct.ac.jp>) で合格者の受験番号を発表します。(電話等による可否の問い合わせには一切応じられません。)

6. 身体に障がいのある入学志願者の事前相談

身体に障がいのある志願者で、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする者は、出願に先立ち、あらかじめ電話で本校学生課まで申し出てください。

相談の時期：令和7年5月23日(金)まで

7. 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、令和7年7月4日(金)までに「入学確約書」を提出してください。
入学確約書を提出しなかった者は、本校への入学の意思がないものとして取り扱います。

〔後期学力選抜〕

1. 出願資格

前期学力選抜に同じ（9頁参照）

2. 出願手続

(1) 願書受付

期 間： 令和7年8月18日（月）～ 8月22日（金）
（郵送の場合も、8月22日必着とします。）

時 間： 午前9時から午後5時まで

場 所： 都城工業高等専門学校 学生課
〒885-8567 都城市吉尾町473番地の1

※① 郵送の場合は、必ず書留としてください。

② 郵送の場合は、長3サイズの封筒に受験者の住所及び氏名を記入し、速達料金410円切手を貼ったものを同封してください。

(2) 出願に必要な書類等 前期学力選抜に同じ（9頁参照）

(3) 出願に関する注意事項 推薦による選抜に同じ（5頁参照）

3. 選抜方法

前期学力選抜に同じ（10頁参照）

4. 選抜の日時及び場所

日 時	科 目	時 間	場 所
令和7年8月29日（金）	数 学	9：10～10：40	都城工業高等専門学校
	専門科目	11：00～12：40	
	面 接	14：00～	

（注）開始30分前までに本校の指定する場所に集合してください。

※受験者のうちインフルエンザ又は新型コロナウイルスに罹患している者若しくは新型コロナウイルスの感染拡大により本校が入試を実施できない場合については、予備日（9月12日（金））に実施します。

5. 合格者の発表（11頁参照）

（予備日入試が無い場合）令和7年9月 5日（金） 午前10時

（予備日入試が有る場合）令和7年9月22日（月） 午前10時

6. 身体に障がいのある入学志願者の事前相談

身体に障がいのある志願者で、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする者は、出願に先立ち、あらかじめ電話で本校学生課まで申し出てください。

相談の時期：令和7年8月1日（金）まで

7. 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、令和7年9月30日（火）までに「入学確約書」を提出してください。
入学確約書を提出しなかった者は、本校への入学の意思がないものとして取り扱います。

Ⅶ. 社会人特別選抜

1. 出願資格

次の各号のいずれかに該当し、かつ受験しようとする専攻に関連する実務経験が出願時点で1年以上ある者で企業の所属長等が推薦する者

- (1) 高等専門学校を卒業した者
- (2) 短期大学を卒業した者
- (3) 専修学校の専門課程を修了した者のうち学校教育法第132条の規定により大学に編入学することができる者
- (4) 外国において、学校教育における14年の課程を修了した者
- (5) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における14年の課程を修了した者
- (6) 我が国において、外国の短期大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (7) その他、本校の専攻科が高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

2. 出願手続(推薦書が得られない場合の手続きを含む。)

(1) 願書受付

期 間: 令和7年8月18日(月)～8月22日(金)

(郵送の場合も、8月22日必着とします。)

時 間: 午前9時から午後5時まで

場 所: 都城工業高等専門学校 学生課 〒885-8567 都城市吉尾町473番地の1

※①郵送の場合は、必ず書留としてください。

②郵送の場合は、長3サイズの封筒に受験者の住所及び氏名を記入し、速達料金410円を貼ったものを同封してください。

(2) 出願に必要な書類等

出願書類等	摘 要
入学願書	本校所定の用紙により、必要事項を記入してください。
調 査 書	① 本校所定の用紙により、出身学校長が作成し厳封してください。 ② 出願資格(3)により出願する者は、次の証明書を添付してください。 ア 専修学校が発行する修業年限2年以上で、修了に必要な総授業時間数が1700時間以上の専門課程を修了したことを証明する証明書 イ 専修学校の専門課程における学科の分野や履修内容が確認できる書類 ③ 出願資格(4)(5)により出願する者は、出願資格にかかる最終学校の成績証明書を添付してください。
推 薦 書	本校所定の用紙により、企業の所属長等が作成してください。
出願承諾書	本校所定の用紙により、企業の所属長等が作成してください。 (企業等に在職したまま入学を希望する者のみ)
受験写真票 受 験 票	写真(縦4cm×横3cm)は、出願以前3か月以内に撮影した正面・上半身・脱帽・無背景のものを所定の位置に貼付してください。

検 定 料	検定料16,500円は、本校所定の「振込依頼書」により志願者本人の氏名で、金融機関（ゆうちょ銀行では口座からの振込みはできますが、現金による振込みはできません。）の窓口で振込みください。振込み後、取扱銀行出納印のある「振込金受付証明書」を「振込金受付証明書貼付用紙」に貼ってください。 ゆうちょ銀行から振込んだ場合は、ゆうちょ銀行出納印のある「振込依頼書（お客さま控）」を提出してください。
あて名票	志願者本人及び企業の所属長等の住所・郵便番号等を記入してください。
そ の 他	現在、日本国内に在住する外国人は、市町村長が発行する「外国人登録済証明書」を提出してください。

（注）推薦書が提出できない場合は、推薦書に代えて次の業績調書及び研究計画書を提出してください。

業 績 調 書	社会人としての業績、または、実務経験の内容を800字以内に取りまとめたものとします（本人作成、A4用紙にワープロで横書きのこと）。
研究計画書	業績調書と併せて今後の研究計画を1,600字以内に取りまとめたものとします（本人作成、様式任意）。研究計画書の作成にあたっては、具体的な研究計画が立てられるように、事前に本校へ相談してください。

（3）出願に関する注意事項

推薦による選抜に同じ（5頁参照）

3. 選抜方法

入学者の選抜は、面接（専門科目に関する口頭試問を含む。）、調査書及び推薦書（推薦書が提出できない場合は業績調書と研究計画書）の結果を総合して行います。

4. 選抜の日時及び場所

日 時	科 目	時 間	場 所
令和7年8月29日(金)	面 接	14:00～	都城工業高等専門学校

（注）開始30分前までに本校の指定する場所に集合してください。

※受験者のうちインフルエンザ又は新型コロナウイルスに罹患している者若しくは新型コロナウイルスの感染拡大により本校が入試を実施できない場合については、予備日（9月12日（金））に実施します。

5. 合格者の発表（11頁参照）

（予備日入試が無い場合）令和7年9月 5日（金） 午前10時

（予備日入試が有る場合）令和7年9月22日（月） 午前10時

6. 身体に障がいのある入学志願者の事前相談

身体に障がいのある志願者で、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする者は、出願に先立ち、あらかじめ電話で本校学生課まで申し出てください。

相談の時期：令和7年8月1日（金）まで

7. 入学確約書の提出

後期学力選抜に同じ（12頁参照）

VIII. 入学手続

入学手続きの詳細については、合格者に別途通知します。

所定の日時内に入学手続きを完了しない場合は、入学辞退者として取り扱います。

IX. 募集要項の請求

募集要項は、本校学生課で交付します。

郵送を希望する場合は、「募集要項請求」と朱書きした封筒に、あて名を明記した「レターパックライト」を同封して請求してください。

X. その他

募集要項及び入学案内に関し、不明な点は下記まで照会してください。

都城工業高等専門学校 学生課

所在地 〒885-8567 都城市吉尾町473番地の1

電 話 0986-47-1133

FAX 0986-47-1143

メールアドレス g-hosa@jim.miyakonojo-nct.ac.jp

入 学 案 内

1. 専攻名及び入学定員

機械電気工学専攻	8人
物質工学専攻	4人
建築学専攻	4人

2. 修業年限及び修了要件（都城工業高等専門学校専攻科）

修業年限	2年
修了要件	62単位以上修得 「生産デザイン工学」プログラムの修了要件（学位取得を除く。）を満たすこと。

3. 修業年限及び修了要件（九大工学部・九州沖縄9高専連携教育プログラム）

修業年限	2年
修了要件	連携教育プログラムの教育課程により62単位以上を修得し、かつ、九州大学から卒業が認定されること。

4. 都城工業高等専門学校専攻科三つの方針

1. 修了認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）

都城高専専攻科（以下では専攻科）では、「優れた人格を備え国際社会に貢献できる創造性豊かな実践的技術者の育成」を教育理念として掲げる。この理念のもと、専攻科に2年以上在学して以下の各専攻の定めた修得すべき能力を身につけ、学士課程の学習・教育到達目標とサブ目標を達成し、合計62単位以上（うち一般科目6単位以上、専門共通科目8単位以上、専門専攻科目38単位以上）の単位修得、および後述する修了要件を満たした学生について修了を認定する。修得すべき能力の（ ）内のA1、B1等はサブ目標との対応を示している。なお、学習・教育到達目標とサブ目標は【別紙】に示す。

1-1 修得すべき能力

【専攻共通】

- (1) 専門分野を理解する上で必要な数学、物理学の基礎的知識を有し、それらの知識を専門分野に応用できる総合的能力(B1、D1)
- (2) 広範な知識と豊かな人間性・社会性を持ち、複合分野で活躍できる学際的能力(C1)
- (3) 様々な工学的手法を駆使し、周囲とのコミュニケーションを図りながら技術的な課題や問題を解決に導く創造的能力(D2、D3)
- (4) 英語能力及び論理的な思考による文章作成能力と効果的なプレゼンテーション能力(C3、C4、C5)
- (5) 技術者の社会的責任に基づく倫理的判断能力(C2)

【機械電気工学専攻】

- ①機械工学・電気情報工学の基礎知識と技能を基盤として、両工学分野の連携技術に対応できる技術者としての能力(A1、A2)
- ②高度化した設計・開発・研究に対応できる創造的なデザイン能力と問題解決能力を備えた技術者としての能力(B2、B3、B4)

【物質工学専攻】

- ①物質工学の基礎的・実践的知識および技術の上に、より高度な新素材開発技術、物質生産技術および環境保全技術を有する技術者としての能力(A1、A2、B2)
- ②化学工業界の要望に応えることのできる総合的技術に基づいた幅広い視野と創造性を持った技術者としての能力(D1、B3、B4)

【建築学専攻】

- ①建築の特定分野において、高度な責任能力を有し、自ら問題を発見し解決できる技術者としての能力(A1、A2、B2、B3)
- ②建築文化の発展と豊かな都市空間の創造に寄与できる技術者としての能力(B4、C1)

【別紙】

学士課程の学習・教育到達目標(A)～(D)とサブ目標((A1)、(B2)など)

- (A) あらゆる可能性を追求できる豊かな創造性を有する技術者の育成
 - (A1) 社会の要求あるいは学術的関心に基づいたアイデアを提案し、その検証・改善が継続的にできること。
 - (A2) 専門技術に関する創造的な構想を、デザイン化するためのトレーニングを通じて、具体的な成果としてまとめられること。
- (B) 科学と工学の知識を駆使して技術的問題を解決し、新規生産技術をデザインできる優れた知性を有する技術者の育成
 - (B1) 解析・線形代数などの数学、量子論などの応用物理および情報通信技術に関し、基礎工学および応用的な専門工学を学ぶのに必要な理論を理解できること。
 - (B2) 技術的諸問題を解決するための基礎工学の知識を理解して説明や応用ができること。
 - (B3) 工学に関する問題点を見出し、その解決方法を提案できること。
 - (B4) 性能、安全性、経済性、審美性または環境への影響などを考慮して新規生産技術をデザインできること。
- (C) 世界の歴史・文化および倫理を常に考え国際社会に貢献できる高度な社会性を有する技術者の育成
 - (C1) 地球的視点から世界の歴史・文化および倫理を学び、生活様式や価値観の多様性を認識できること。
 - (C2) 具体的な事例をもとに、技術者が負っている社会的責任を理解できること(技術者倫理)。
 - (C3) 英語で書かれた専門分野の文献が読解できること。
 - (C4) 日常的な話題について外国語でコミュニケーションができること。
 - (C5) 日本語で自分の意見や研究成果を論理的に記述し、その内容について口頭発表および討議ができること。
- (D) 自然・社会環境に関連する諸問題に積極的・計画的に取り組み、継続して推進する確かな実行力を有する技術者の育成
 - (D1) 科学技術が地球の自然・社会環境に及ぼす諸問題を理解し、説明できること。
 - (D2) 自分の研究や実験課題に関して、自主的、継続的に最新の技術情報を収集し、妥当な結論を導けること。
 - (D3) 実習や研究に関連する人と協力し、期限内に成果をまとめられること。

1-2 全専攻共通の修了要件

上に述べた在学期間と合計単位数以外に、以下の2要件を満たす必要がある。

(1) 必修科目と選択科目の履修と修得

必修科目については全科目を履修し修得しなければならない。選択科目については所定科目をそれぞれ履修して、成績の評価を受けなければならない。また(2)に示す「生産デザイン工学」プログラム*に定める必修科目と選択科目についても同様である。

(2) 「生産デザイン工学」プログラムの修了要件

以下に示す「生産デザイン工学」プログラムの修了要件Ⅰ～Ⅵをすべて満たす必要がある。

- Ⅰ. 学士の学位を取得していること。
- Ⅱ. 学協会等で発表を行っていること。
- Ⅲ. 「生産デザイン工学」プログラムの学習・教育到達目標の達成度評価基準を満たしていること。
- Ⅳ. 基礎工学の知識・能力を養うために、次の科目を修得していること。

1) 自然科学系科目の内、下記の科目を修得していること。

数学系： 微分方程式、応用数学、線形数学、解析学特論

物理系： 応用物理、応用物理特論

自然科学系： 地球環境科学、一般化学(物質工学専攻生は専門科目で代用)

2) 基礎工学科目の内、下記の各科目群から少なくとも1科目、合計最低6科目を修得していること。

① 設計・システム系科目群 ② 情報・論理系科目群 ③ 材料・バイオ系科目群

④ 力学系科目群 ⑤ 社会技術系科目群

V. 専門工学科目は全て修得していること。

VI. 「生産デザイン工学」プログラム科目を合計で124単位以上修得していること。

参考 *JABEE 認定「生産デザイン工学」プログラム

「生産デザイン工学」プログラムは本校の教育理念である「優れた人格を備え国際社会に貢献できる創造性豊かな実践的技術者の育成」を目的とした4年間の教育プログラムである。本プログラムは「豊かな創造性」「優れた知性」「高度な社会性」「確かな実行力」(教育理念のキーワード)を学習・教育到達目標として掲げ、各専門工学ばかりでなく、それらの専門分野が複合した幅広い工学領域でも活躍できる実践的技術者を育成できるように構成されている。本プログラムはJABEEに対応し、2022年度審査で継続認定されている。

<JABEE認定「生産デザイン工学」プログラム>

都城高専ホームページ(<http://www.miyakonojo-nct.ac.jp>) > FEATURE > JABEE 認定教育プログラム

2. 教育課程編成の方針(カリキュラム・ポリシー)

2-1 教育課程の編成方針と教育内容

専攻科の学士課程では、学生がディプロマ・ポリシーに掲げる能力が身につけられるように、以下に示す一般科目(人文・社会、外国語、数理・自然科学、情報)、専門科目(機械電気工学、物質工学、建築学)、特別研究Ⅰ・Ⅱなどからなる教育課程(カリキュラム)が体系的に編成されている。

(1) 一般科目

一般科目では、特に学習・教育到達目標の「(C)世界の歴史・文化および倫理を常に考え国際社会に貢献できる高度な社会性を有する技術者の育成」を図るため、以下のような科目群を開講している。

- ① 英語(総合英語、実用英語) ② 社会(知的財産権、倫理学、歴史学)
- ③ 国語(中国古典学、文章表現法)

(2) 専門共通科目

専門共通科目では、特に学習・教育到達目標の「(D)自然・社会環境に関連する諸問題に積極的・計画的に取り組み、継続して推進する確かな実行力を有する技術者の育成」を図るため、以下のような科目群を開講している。

- ① 地球環境科学 ② 技術者倫理 ③ 数学(線形数学、統計学特論、解析学特論)
- ④ 一般化学 ⑤ 物理(一般力学、応用物理特論) ⑥ 応用情報工学

(3) 専門科目

専門科目では、特に学習・教育到達目標の「(A)あらゆる可能性を追求できる豊かな創造性を有する技術者の育成」と「(B)科学と工学の知識を駆使して技術的問題を解決し、新規生産技術をデザインできる優れた知性を有する技術者の育成」を図るため、各科目群を開講している。以下、各専攻のカリキュラム編成とその特徴を示す。

【機械電気工学専攻】

出身の機械工学系と電気情報工学系の学科に対応した選択科目を開講し、さらに、機械と電気・情報の連携技術に対応できるようにメカトロニクス、パワーエレクトロニクス及び半導体等の新素材を含む先端技術に広く係わる教育を行う。高度に情報化された機械工学と電気情報工学を統合した設備の設計や開発技術全体を掌握できる能力を有する研究開発型技術者の育成を目指している。

【物質工学専攻】

物質工学専攻の目的と教育概要に記載した3つの人材育成を目的として、「生産デザイン工学」プログラムの教育目標を達成できるように教育を行っている。具体的には、本科に配置された物理化学、無機化学、有機化学、分析化学、生物化学、化学工学などの基礎科目を充実させるための応用科目を配している。

【建築学専攻】

建築学専攻では、本科で修得した技術をさらに深化させることを目的として、建築計画あるいは建築構造に関するより高度な専門技術の修得を目指している。そのため、建築学専攻の学生には、原則として、計画系及び構造系のいずれかの分野を選択し、それぞれの分野に特化した科目の履修を課している。なお、建築士法改正後も、建築学専攻の修了生は、従来どおり実務経験2年を経て、一級建築士を受験することが可能となっている。

2-2 教育の実施方法

- (1) ディプロマ・ポリシーに掲げる能力を学生が身につけるために、学習・教育目標のサブ目標を設定し、各サブ目標に配置された科目を修得させる。これについては、「学士課程 学業を修めるためのガイドブック」を用いて周知する。また、各科目の授業は、履修方法を説明し、シラバスに基づいて行う。
- (2) 授業のみならず、課題等により学生の自学学習を課すとともに、ルーブリック、ポートフォリオ、達成度評価を利用して学生の主体的学習を支援する。
- (3) 中間試験・期末試験および年度内・次年度の再試験を実施する。

2-3 学習成果の評価方法

学習成果の評価は、各科目において、シラバスに示した評価方法に基づいて行い、学期末の総合成績とする。成績評価は100点法で行い、60点以上の場合、単位を認定する。なお、学業成績の標語および評点は、それぞれ次のとおりとする。

学業成績の点数	標語	評点
80点～100点	優	5
70点～79点	良	4
60点～69点	可	3
30点～59点	不可	2
29点以下	不可	1

3. 入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）

3-1 求める学生像

専攻科では、修了認定の方針（ディプロマ・ポリシー）に示す能力を持った学生を育成するために、教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を実施する。この教育に相応しい人材を以下に示す。

- (1) 科学と工学の基礎学力を十分に身につけている人
- (2) より高い専門的な技術を磨く意欲のある人
- (3) 技術者として地域社会および国際社会の発展に貢献できる素養のある人
- (4) 社会性と倫理観をもち、自主的に行動できる人

3-2 入学者選抜の基本方針

3-1に示す人材を確保するために、高等専門学校（以下「高専」という。）卒業見込者で成績優秀者を対象に推薦選抜試験を、また高専や短期大学等（以下「高専等」という。）卒業者（卒業見込者を含む）等を対象に学力選抜試験を行う。さらに、高専等の既卒者で、社会人としての実務経験を有する者を対象とする社会人特別選抜試験を行う。

3-3 入学者の選抜方法

3-3-1 選抜の種類

専攻科の入学者の選抜は、推薦選抜、学力検査による選抜及び社会人特別選抜の3つの方法で行う。

3-3-2 選抜方法

(1) 推薦選抜

推薦選抜では専攻科課程を履修するのに必要な学力面は高専卒業時に十分身につけていることを前提とし、選抜試験では面接試験だけを行う。

3-1 (1) の科学と工学の基礎学力を十分に身につけているかは、提出された調査書をもとに、高専1～4年

(以下「本科」という。)時代の成績を総合評価の一部とすることで判断する。また本科3、4年時の席次が良好であることや、英語力の裏付として本科4年以降に受験しているTOEIC テストのスコアが350 点以上であることを受験要件としている。

3-1 (2) から (4) までは面接試験で確認する。面接試験では入学者受け入れ方針に対応した質問事項を設け、回答内容を点数化して評価する。

最終的には本科在学時の成績の点数と面接試験の点数を換算して合計し、各専攻ごとに(機械電気工学専攻は機械系と電気系を別々に)総合評価の高い受験者から順に合格とする。ただし、面接点が極端に低い場合はこの限りではない。

(2) 学力選抜

学力選抜では専攻科課程を履修するのに必要な学力を担保するため、調査書に基づく成績の点数評価に加え、学力試験を行う。また、面接試験も行い、これらを総合して評価する。

3-1 (1) の科学と工学の基礎学力を十分に身につけているかは、提出された調査書をもとに高専等在学時の成績に学力試験の結果を加えたものを総合評価の一部とすることで判断する。また、英語についてはTOEIC テストのスコアを点数化し、これも総合評価の一部とする。

3-1 (2) から (4) までは面接試験で確認する。面接試験では入学者受け入れ方針に対応した質問事項を設け、回答内容を点数化して評価する。

最終的には高専等在学時の成績の点数と学力試験及び面接試験の点数を換算して合計し、各専攻ごとに(機械電気工学専攻は機械系と電気系を別々に)総合評価の高い受験者から順に合格とする。ただし、受験者の多寡がある場合や面接点が極端に低い場合はこの限りではない。

(3) 社会人特別選抜

社会人特別選抜は基本的には推薦選抜試験と同じ調査書と面接による。しかし、高専等を卒業(修了)し、企業等で実務経験を重ねていることから、3-1 (1) の学力面の担保については学力試験及びTOEIC のスコアの提出を免除し、代わりに企業の所属長等の推薦書等を以てこれに替える。

3-1 (2) ~ (4) までは面接試験で確認する。面接試験では入学者受け入れ方針に対応した質問事項(専門科目に関する口頭試問を含む。)を設け、回答内容を点数化して評価する。

最終的には面接試験、調査書及び推薦書(推薦書が提出できない場合は業績調書と研究計画書)の結果を総合評価し、各専攻ごとに(機械電気工学専攻は機械系と電気系を別々に)総合評価の高い受験者から順に合格とする。ただし、受験者の多寡がある場合や面接点が極端に低い場合はその限りでない。

5. 主な経費(都城工業高等専門学校専攻科)

- (1) 入学科 84,600 円
- (2) 前期授業料 117,300 円(年額 234,600 円)
- (3) 教科書等 50,000 円程度
- (4) 後援会費 25,000 円/年額(本校出身以外の入学生は入会金 10,000 円が必要)
- (5) 同窓会費 10,000 円(本校出身以外の入学生のみ)
- (6) 日本スポーツ振興センター共済掛金 1,550 円(1 年分)、学生傷害保険 4,289 円(2 年分)、生活補償保険 1,370 円(1 年分)

(注) 入学科・授業料の改定が行われた場合には、改定時から新料金が適用されます。

6. 主な経費(九大工学部・九州沖縄9高専連携教育プログラム)

- (1) 入学科 282,000 円(九州大学に納付)
- (2) 前期授業料 267,900 円(九州大学に納付)(年額 535,800 円)
- (3) 教科書等 約 30,000 円
- (4) 後援会費 25,000 円/年額(本校出身以外の入学生は入会金 10,000 円が必要)
- (5) 同窓会費 10,000 円(本校出身以外の入学生のみ)
- (6) 日本スポーツ振興センター共済掛金 1,550 円(1 年分)、学生傷害保険 4,289 円(2 年分)、生活補償保険 1,370 円(1 年分)

(注) 入学科・授業料の改定が行われた場合には、改定時から新料金が適用されます。

7. 入学料・授業料免除制度（都城工業高等専門学校専攻科）

(1) 高等教育の修学支援新制度による入学料・授業料減免

高等教育の修学支援新制度は、令和2年4月から始まった国の支援施策です。家計基準・学力基準の条件を満たす場合は、申請に基づき選考の上、入学料・授業料減免の支援を受けることができます。

(2) 高専機構の入学料免除及び徴収猶予

入学前1年以内に、入学する者の学資を主として負担している者（学資負担者）が死亡した場合、又は入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合など特別な事情により入学料の納付が著しく困難である者に対しては、申請に基づき選考の上、入学料の全額又は半額を免除することがあります。また、所定の期日に入学料の納付が困難な者に対して徴収猶予の制度もあります。

(3) 高専機構の授業料免除及び徴収猶予

授業料の各期の納付期限前6月以内（新入学生に対する入学した日の属する期分の免除に係る場合は、入学前1年以内）において、学資負担者が死亡した場合又は学生若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合など、特別な事由により授業料の納付が著しく困難である者に対しては、申請に基づき選考の上、授業料の全額又は半額を免除することがあります。

8. 入学料・授業料免除制度（九大工学部・九州沖縄9高専連携教育プログラム）

九州大学での手続きとなりますので、九州大学から届く通知を確認してください。

9. 奨学金制度（都城工業高等専門学校専攻科）

(1) 日本学生支援機構の貸与奨学金

（独）日本学生支援機構の規定により、学資の支弁が困難と認められ、かつ、学業成績・人物ともに優れる者に対し、本人の申請に基づき選考のうえ（独）日本学生支援機構から奨学金を貸与する制度があります。

☆第一種奨学金（貸与月額）

区分	自宅通学生	自宅外通学生	貸与利子
最高月額	45,000円	51,000円	無利子
最高月額以外の月額	2万円、3万円	2万円、3万円、4万円	

☆第二種奨学金（貸与月額）

希望貸与月額	貸与利子
2万円から12万円までの1万円単位の金額の中から選択できます。	有利子

(2) 高等教育の修学支援新制度による給付奨学金

家計基準・学力基準の条件を満たす場合は、申請に基づき選考の上、給付奨学金の支援を受けることができます。

10. 奨学金制度（九大工学部・九州沖縄9高専連携教育プログラム）

九州大学での手続きとなりますので、九州大学から届く通知を確認してください。

11. 学生寮

都城工業高等専門学校には、学生の修学に便宜を供与し、かつ、共同生活を通じて人間形成を促進することを目的として、学生寮が設けられています。学生寮には、男子学生寮、女子学生寮及び国際寮があり、およそ 300 人の学生が生活しています。専攻科の学生も、入寮希望申請に基づき、審査の上、入寮が許可されます。

12. ノート型パソコンの必携について（九大工学部・九州沖縄9高専連携教育プログラム）

都城工業高等専門学校のみならず、九州大学では個人用パソコン（ノート型）が必携となっています。推奨スペック等については、九大募集要項を確認してください。

13. 大学院への進学

令和7年度は、東北大学大学院（1名）、筑波大学大学院（1名）、豊橋技術科学大学大学院（1名）、奈良先端科学技術大学院大学（1名）、九州大学大学院（7名）の合計11名の学生が進学しました。

本校専攻科では、学生の大学院進学ニーズに応えるべく、北陸先端科学技術大学院大学(国立)及び早稲田大学大学院(情報生産システム研究科)と推薦入学に関して協定を結び、本校推薦者は、書類選考のみで入学することができるようになりました。

14. 専攻科教育課程表

(別表第3)

機械電気工学専攻教育課程表

(令和7年度入学者用)

区 分		授 業 科 目	単位数	学年別配当 (単位数)		備 考	
				1年	2年		
一般科目	必修	総合英語	2	2			
	選択	実用英語	2		2		
		知的財産権	2		2		
		倫理学	2	2			
		歴史学	2	2			
		中国古典学	2	2			
		文章表現法	2	2			
一般科目開設単位小計			14	10	4		
専門科目	共通科目	必修	地球環境科学	2		2	
		技術者倫理	2		2		
		選択	線形数学	2	2		
			統計学特論	2		2	
			解析学特論	2	2		
			一般化学	2		2	
			一般力学	2		2	
			応用物理特論	2	2		
			応用情報工学	2		2	
	農学概論		2		2		
	(共通科目開設単位)		20	6	14		
	専攻科目	必修	科学技術英語	2	2		
			機械電気工学特別実験	4	4		
			創造デザイン基礎演習	1	1		
			創造デザイン演習Ⅰ	1	1		
			創造デザイン演習Ⅱ	2		2	
			実務実習	2	2		
			機械電気工学特論	2	2		
			専攻科特別研究Ⅰ	6	6		
			専攻科特別研究Ⅱ	8		8	
		選択	材料力学特論	2		2	
			変形加工学	2	2		
			機械設計特論	2	2		
			C A E	2		2	
			制御工学特論	2	2		
			材料強度学	2		2	
			流体力学特論	2		2	
熱移動と流れの工学			2		2		
振動工学			2		2		
メカトロニクス特論			2		2		
電磁気学特論			2		2		
電気回路特論			2	2			
電子計測特論			2		2		
情報システム工学			2	2			
電子デバイス			2	2			
電子材料プロセス工学			2		2		
電子物性工学			2		2		
気体電子工学			2		2		
放電工学			2		2		
パワーエレクトロニクス	2		2				
通信工学特論	2		2				
(専攻科目開設単位計)		70	32	38			
専門科目開設単位小計			90	38	52		
一般・専門科目開設単位合計			104	48	56		
一般・専門科目修得単位合計			62単位以上				

(別表第3)

物質工学専攻教育課程表

(令和7年度入学者用)

区 分		授 業 科 目	単位数	学年別配当 (単位数)		備 考	
				1年	2年		
一般科目	必修	総合英語	2	2			
	選択	実用英語	2		2		
		知的財産権	2		2		
		倫理学	2	2			
		歴史学	2	2			
		中国古典学	2	2			
		文章表現法	2	2			
一般科目開設単位小計			14	10	4		
共通科目	必修	地球環境科学	2		2		
	選択	技術者倫理	2		2		
		線形数学	2	2			
		統計学特論	2		2		
		解析学特論	2	2			
		一般化学	2		2		
		一般力学	2		2		
		応用物理特論	2	2			
		応用情報工学	2		2		
		農学概論	2		2		
	(共通科目開設単位)		20	6	14		
	専門科目	必修	科学技術英語	2	2		
			物質工学特別実験	4	4		
			創造デザイン基礎演習	1	1		
			創造デザイン演習Ⅰ	1	1		
創造デザイン演習Ⅱ			2		2		
実務実習			2	2			
物質工学特論			2	2			
専攻科特別研究Ⅰ			6	6			
専攻科特別研究Ⅱ			8		8		
選択		化学反応論	2		2		
		無機合成化学	2	2			
		反応有機化学	2	2			
		有機光化学	2		2		
		分子生態学	2		2		
		蛋白質工学	2	2			
		生物物理化学	2		2		
		移動現象論	2		2		
		微粒子工学	2	2			
		応用触媒工学	2	2			
		新素材論	2		2		
		無機機能性材料	2		2		
		機能性高分子	2	2			
		水質環境工学	2		2		
(専攻科目開設単位計)		56	30	26			
専門科目開設単位小計			76	36	40		
一般・専門科目開設単位合計			90	46	44		
一般・専門科目修得単位合計			62単位以上				

(別表第3)

建築学専攻教育課程表

(令和7年度入学者用)

区 分		授 業 科 目	単位数	学年別配当 (単位数)		備 考	
				1年	2年		
一般科目	必修	総合英語	2	2			
	選択	実用英語	2		2		
		知的財産権	2		2		
		倫理学	2	2			
		歴史学	2	2			
		中国古典学	2	2			
		文章表現法	2	2			
一般科目開設単位小計			14	10	4		
専門科目	共通科目	必修	地球環境科学	2		2	
		技術者倫理	2		2		
		選択	線形数学	2	2		
			統計学特論	2		2	
			解析学特論	2	2		
			一般化学	2		2	
			一般力学	2		2	
			応用物理特論	2	2		
			応用情報工学	2		2	
			農学概論	2		2	
		(共通科目開設単位)		20	6	14	
	専攻科目	必修	建築英語	2	2		) いずれかを選択
			創造デザイン基礎演習	1	1		
			創造デザイン演習Ⅰ	1	1		
			創造デザイン演習Ⅱ	2		2	
			建築設計演習	4	4		
			構造設計演習	4	4		
			建築実務実習	2	2		
			建築学特論	2	2		
			専攻科特別研究Ⅰ	6	6		
		専攻科特別研究Ⅱ	8		8		
		選択	建築計画学	2	2		
			生活環境デザイン論	2		2	
			地域デザイン特論	2	2		
			居住熱環境学	2		2	
			鉄骨構造学特論	2		2	
コンクリート構造特論	2			2			
木質構造学特論	2		2				
建築材料施工特論	2		2				
建築情報処理	2		2				
建築CAD設計演習	2		2				
建築材料実験特論	2		2				
地震工学	2	2					
(専攻科目開設単位計)			56	36	20		
専門科目開設単位小計			76	42	34		
一般・専門科目開設単位合計			90	52	38		
一般・専門科目修得単位合計			62単位以上				

15.九大工学部・九州沖縄9高専連携教育プログラム教育課程表

別表第1-1 機械電気工学専攻教育課程表（九大工学部・九州沖縄9高専連携プログラム）

（令和7年度入学者用）

区 分	授 業 科 目	開講 単位数	学年別配当 (単位数)		連携教育 プログラム 認定科目	備 考
			1年	2年		
一 般 科 目	必修	総合英語	2	2	③	
	選 択	実用英語	2	2		
		知的財産権	2	2		
		倫理学	2	2		
		歴史学	2	2		
		中国古典学	2	2		
		文章表現法	2	2		
	一般科目開設単位小計		14	10	4	
専 門 科 目	必修	地球環境科学	2	2		
		技術者倫理	2	2		
	選 択	線形数学	2	2	②	
		統計学特論	2	2		
		解析学特論	2	2	②	
		一般化学	2	2		
		一般力学	2	2		
		応用物理特論	2	2	②	
		応用情報工学	2	2	⑤	
		農学概論	2	2		
	(共通科目開設単位)		20	6	14	
	必修	科学技術英語	2	2	③	
		機械電気工学特別実験	4	4	①	
		創造デザイン基礎演習	1	1		
		創造デザイン演習Ⅰ	1	1		
		創造デザイン演習Ⅱ	2	2		
		実務実習	2	2		
		機械電気工学特論	2	2	①	
		専攻科特別研究Ⅰ	6	6	④	
		専攻科特別研究Ⅱ	8	8		
	選 択	材料力学特論	2	2	①	機械系に開講
		変形加工学	2	2	①	機械系に開講
		機械設計特論	2	2		
		C A E	2	2		
		制御工学特論	2	2	①	
		材料強度学	2	2		
		流体力学特論	2	2		
		熱移動と流れの工学	2	2	①	機械系に開講
		振動工学	2	2		
		メカトロニクス特論	2	2		
		電磁気学特論	2	2		
		電気回路特論	2	2	①	電気系に開講
		電子計測特論	2	2		
		情報システム工学	2	2	①	
		電子デバイス	2	2	①	電気系に開講
		電子材料プロセス工学	2	2		
		電子物性工学	2	2		
		気体電子工学	2	2		
		放電工学	2	2		
		パワーエレクトロニクス	2	2	①	電気系に開講
		通信工学特論	2	2		
	(専攻科目開設単位計)		70	32	38	
	専門科目開設単位小計		90	38	52	
大分高専開講科目		2	2		⑤	
九州大学開講科目		13	13		○	単位数は2年に含まれる。
連携教育プログラム開設単位合計		119	50	69		
連携教育プログラム修得単位合計			62単位以上			

- 在籍学年と異なる学年に開講される授業科目の履修を妨げない。
- 連携教育プログラム認定科目については次のとおり修得すること。

- ①本科で学んだ専門科目をさらに深化させる科目群（4単位以上）
 - ②本科で学んだ専門科目以外を学び、専門性を広げる科目群（4単位以上）
 - ③グローバル（国際実践）科目群（4単位）
 - ④共同設置科目群（研究基礎系）（4単位以上）
 - ⑤共同設置科目群（情報系）（4単位）

}

①及び②の科目群から15単位以上修得すること。
- 大分高専及び九州大学開講科目については、別表第2の中から修得すること。

区 分		授 業 科 目	単位数	学年別配当 (単位数)		連携教育 プログラム 認定科目	備 考	
				1年	2年			
一 般 科 目	必修	総合英語	2	2		③		
	選 択	実用英語	2		2			
		知的財産権	2		2			
		倫理学	2	2				
		歴史学	2	2				
		中国古典学	2	2				
		文章表現法	2	2				
一般科目開設単位小計			14	10	4			
専 門 科 目	共 通 科 目	必修	地球環境科学	2		2		
		技術者倫理	2		2			
		選 択	線形数学	2	2		②	
			統計学特論	2		2		
			解析学特論	2	2		②	
			一般化学	2		2		
			一般力学	2		2		
			応用物理特論	2	2		②	
			応用情報工学	2		2	⑤	
			農学概論	2		2		
		(共通科目開設単位)		20	6	14		
	専 攻 科 目	必 修	科学技術英語	2	2		③	
			物質工学特別実験	4	4		①	
			創造デザイン基礎演習	1	1			
			創造デザイン演習Ⅰ	1	1			
			創造デザイン演習Ⅱ	2		2		
			実務実習	2	2			
			物質工学特論	2	2		①	
			専攻科特別研究Ⅰ	6	6		④	
			専攻科特別研究Ⅱ	8		8		
		選 択	化学反応論	2		2		
			無機合成化学	2	2		①	
			反応有機化学	2	2		①	
			有機光化学	2		2		
			分子生態学	2		2		
			蛋白質工学	2	2		①	
			生物物理化学	2		2		
			移動現象論	2		2		
			微粒子工学	2	2		①	
応用触媒工学	2	2		①				
(専攻科目開設単位計)			56	30	26			
専門科目開設単位小計			76	36	40			
大分高専開講科目			2	2		⑤		
九州大学開講科目			13	13		○	単位数は2年に含まれる	
連携教育プログラム開設単位合計			105	48	57			
連携教育プログラム修得単位合計			62単位以上					

1. 在籍学年と異なる学年に開講される授業科目の履修を妨げない。
2. 連携教育プログラム認定科目については次のとおり修得すること。

①本科で学んだ専門科目をさらに深化させる科目群（4単位以上） ②本科で学んだ専門科目以外を学び、専門性を広げる科目群（4単位以上） ③グローバル（国際実践）科目群（4単位） ④共同設置科目群（研究基礎系）（4単位以上） ⑤共同設置科目群（情報系）（4単位）	} ①及び②の科目群から15単位以上修得すること。
--	---------------------------
3. 大分高専及び九州大学開講科目については、別表第2の中から修得すること。

別表第2 大分高専及び九州大学開講科目（九大工学部・九州沖縄9高専連携教育プログラム）

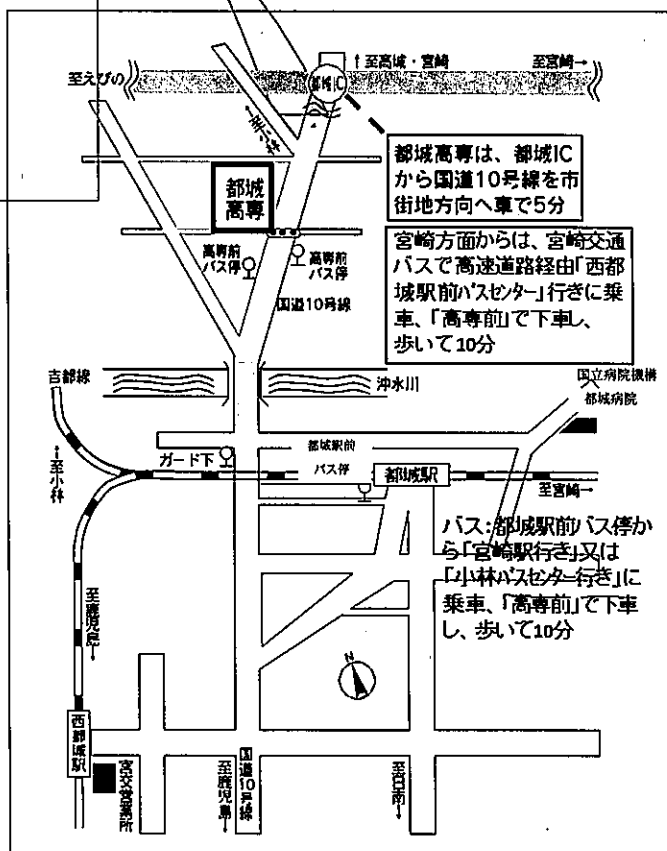
大分高専開講科目					
区分	授業科目	単位数	履修年次		備考
			1年	2年	
情報系	必修 情報技術	2	2		
	開講単位合計	2	2		
	修得単位合計		2単位		

※大分高専開講科目の単位については、2単位を超えない範囲で当該専攻における単位として認定する。

九州大学開講科目					
区分	授業科目	単位数	履修年次		備考
			1年	2年	
グローバル	グローバル科目Ⅰ（論文）	1		1	
グローバル	グローバル科目Ⅱ（討論）	1		1	
産学連携	インターンシップⅠ（長期）	3	3		
PBL	研究プロジェクト	4		4	
PBL	卒業研究	6		6	
専門科目	融合工学概論Ⅰ	2	2		
専門科目	融合工学概論Ⅱ	2	2		
専門科目	融合基礎工学特別講義A	1		1	1・2年にかけて開講
専門科目	融合基礎工学特別講義B	1		1	1・2年にかけて開講
専門科目	先端計測科学	1		1	
専門科目	エネルギー・環境学A	1		1	
専門科目	エネルギー・環境学B	1		1	
専門科目	半導体・デバイス工学A	1		1	
専門科目	半導体・デバイス工学B	1		1	
専門科目	プラズマ応用工学	1		1	
情報系	融合応用情報学A	1		1	
情報系	融合応用情報学B	1		1	
情報系	融合応用情報学C	1		1	
情報系	融合応用情報学D	1		1	
産学連携	知的財産権	1		1	
産学連携	マネジメント論	1		1	
産学連携	マーケティング論	1		1	
開講単位合計		34	34		
修得単位合計			30単位以上		

※九州大学開講科目については、次のとおり取扱うものとする。

- 九州大学開講科目のうち、「グローバル科目Ⅰ（論文）（1単位）」及び「グローバル科目Ⅱ（討論）（1単位）」を修得した場合、「実用英語（2単位）」と読替える。
- 「研究プロジェクト（4単位）」及び「卒業研究（6単位）」を修得した場合、「専攻科特別研究Ⅱ（8単位）」と読替える。
- 「インターンシップⅠ（長期）（3単位）」を修得した場合、「実務実習（2単位）」と読替える。
- 「エネルギー・環境学A（1単位）」及び「エネルギー・環境学B（1単位）」を修得した場合、「地球環境科学（2単位）」と読替える。
- 「融合応用情報学B（1単位）」及び「融合応用情報学D（1単位）」を修得した場合、「CAE（2単位）」と読替える。
- 「融合応用情報学A（1単位）」及び「半導体・デバイス工学B（1単位）」を修得した場合、「新素材論（2単位）」と読替える。
- 上記以外で修得した九州大学開講科目の単位については、13単位を超えない範囲で当該専攻における単位として認定する。



●JR 都城駅から約 3.5 km です。

- 29

添 付 用 紙 等

様 式	都城高専 受験	九州大学 受験
入学願書	○	○
受験写真票・受験票	○	○
調査書	○	○
推薦書（推薦選抜志願者用）	○	○
成績証明書（※他高専から出願する場合）	○	
推薦書（社会人特別選抜志願用）	○	
出願承諾書 （企業に在籍したまま入学を希望する者用）	○	
振込依頼書〔都城高専用〕	○	
振込依頼書〔九州大学用〕		○
振込金受付証明書貼付用紙	○	○
あて名票	○	○

【志願者の個人情報の取扱いについて】

入学志願者から提出された入学願書や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた試験成績・評価など入学者選抜を通じて取得した個人情報、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用し、適正な管理と保護に努めます。

- (1) 入学後の教育・指導
- (2) 入学料、授業料の免除申請の審査
- (3) 奨学金申請の審査
- (4) 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

[都城高専用]、[九州大学用]

令和8年度 都城工業高等専門学校専攻科
入 学 願 書

		受験番号	※
志望専攻	専攻	受験区分	1. 推薦選抜 2. 九州大学連携教育プログラム 3. 学力選抜（前期・後期） 4. 社会人特別選抜
ふりがな			
氏名			生年月日
出願資格	高等専門学校 学科 短期大学 学科 専修学校 学科 （平成・令和 年 月 日 卒業・卒業見込・修了・修了見込）		
ふりがな			
現住所			
郵便番号	〒 —	電話番号	（ ） —
受験関係 連絡先	〒 — TEL（ ） —		
中学校卒業 後の学歴及 び職歴	平成・令和 年 月 日	中学校卒業	
	自 平成・令和 年 月 日		
	至 平成・令和 年 月 日		
	自 平成・令和 年 月 日		
	至 平成・令和 年 月 日		
	自 平成・令和 年 月 日		
	至 平成・令和 年 月 日		
入学した場合の 入寮希望の有無		有 ・ 無	
勤 務 先	名称(部・課まで)		
	勤務先所在地	〒 — TEL（ ） —	
【機械電気工学専攻(電気系)】の受験者について 次の科目の中から受験する科目を2科目選択し、()に○を付けてください。 ()電気磁気学、()電気回路、()電子回路、()情報			

記入上の注意

- 1 ※印欄は記入しないでください。
- 2 学歴及び職歴欄は、中学校卒業から連続するように記入してください。
- 3 勤務先欄は、企業等に在職の社会人のみ記入してください。

[都城高専用]、[九州大学用]

令和8年度 都城工業高等専門学校専攻科
入 学 願 書

記入例

番号を○で囲む		受験番号 ※
志望専攻	○○ 専攻	1. 推薦選抜 2. 九州大学連携教育プログラム 3. 学力選抜（前期・後期） 4. 社会人特別選抜
ふりがな	こうせん たろう	
氏 名	高専 太郎	
	生年月日	昭和・平成 年 月 日
出願資格	都城工業 高等専門学校 ○○学科 短期大学 学科 専修学校 学科 (平成・令和 8年 3月○○日 卒業 卒業見込・修了・修了見込)	
ふりがな		
現住所		
郵便番号	〒 -	電話番号 () -
受験関係連絡先	〒 - ※現住所と同じ場合は「同上」でも構いません。 空欄で結構です TEL() -	
中学校卒業後の学歴及び職歴	平成・令和 3年 3月 日	○○(市・町・村)立 ○○中学校卒業
	自 平成・令和 3年 4月 4日	都城工業高等専門学校 入学 都城工業高等専門学校 卒業見込
	至 平成・令和 8年 3月14日	
	自 平成・令和 年 月 日	
	至 平成・令和 年 月 日	
	自 平成・令和 年 月 日	
入学した場合の 入寮希望の有無	有 ・ 無	
勤務先	名称(部・課まで) _____ 〒 - _____ TEL() - _____	
【機械電気工学専攻(電気系)】の受験者について 次の科目の中から受験する科目を2科目選択し、()に○を付けてください。 ()電気磁気学、()電気回路、()電子回路、()情報		

記入上の注意

1. ※印欄は記入しないでください。
2. 学歴及び職歴欄は、中学校卒業から連続するように記入してください。
3. 勤務先欄は、企業等に在職の社会人のみ記入してください。

[都城高専用]、[九州大学用]

令和 8 年度

都城工業高等専門学校専攻科

受験写真票

受験番号	※
志望専攻	専 攻
ふりがな	
氏 名	

最近3か月以内に撮影
した写真をここに貼っ
てください。

正面・上半身・脱帽
・無背景

縦 4cm
横 3cm

※印欄は記入しないでください。

き
り
は
な
さ
な
い
こ
と

[都城高専用]、[九州大学用]

令和 8 年度

都城工業高等専門学校専攻科

受 験 票

受験番号	※
志望専攻	専 攻
ふりがな	
氏 名	

※印欄は記入しないでください。

検査日時

1 推薦による選抜

令和7年5月10日(土) 10時30分～
(予備日:5月24日(土) 10時30分～)

2 学力による選抜

① 前期学力選抜

令和7年6月14日(土) 9時10分～
(予備日:6月21日(土) 9時10分～)

② 後期学力選抜

令和7年8月29日(金) 9時10分～
(予備日:9月12日(金) 9時10分～)

3 社会人特別選抜

令和7年8月29日(金) 14時00分～
(予備日:9月12日(金) 14時00分～)

★ 受験者心得 (裏面)を熟読ください。

きりとり線

きりとり線

受 験 者 心 得

◎「推薦による入学者の選抜」受験者

- (1) 5月10日(土)10時00分までに本校に集合し、係員の指示に従ってください。
- (2) 受験票・筆記用具(鉛筆等)を持参してください。
- (3) 面接の順番によっては午後になることがありますので、弁当を持参してください。

◎「学力検査による入学者の選抜」受験者

- (1) 学力検査の開始30分前までに集合し、係員の指示に従ってください。
- (2) 本受験票は、学力検査中は必ず机の右上に置いてください。
- (3) 目盛付定規及び電卓を使用することがありますので、準備をしてください。
※プログラム機能付きの電卓は不可
- (4) 検査室には、受験票のほか黒鉛筆、シャープペンシル、鉛筆削り、消しゴム、時計以外は持ち込みできません。
なお、検査室には時計がない場合があります。
- (5) その他の所持品は、カバン等に入れて所定の場所に置いてください。
- (6) 物品の貸借は禁止します。
- (7) 問題は、配布しても手を触れないで、試験開始の合図(試験監督)によって解答にかかってください。
なお、各科目とも必ず受験番号・氏名を記入した後で解答にかかってください。
- (8) 遅刻者は、各科目とも検査開始後20分までは入室を認めます。
- (9) 各科目の試験開始時刻から20分以上遅刻した者の受験は許可しません。
また、各科目の試験開始後20分以内の退室は認めません。
- (10) 検査中の発病又は用便等やむを得ない場合には、手を挙げて監督者の指示に従ってください。
- (11) 検査終了後は、答案は裏返して退室してください。
- (12) 検査中は、質問に応じません。ただし、問題に落丁や印刷不鮮明なところがある場合は、手を挙げて監督者の指示を受けてください。

[都城高専用][九州大学用]

令和8年度 都城工業高等専門学校専攻科
調 査 書

志望専攻	専 攻		受験番号		※	
ふりがな	男・女		学 校・学 科	高等専門学校 短期大学 専修学校 学 科		
氏 名						
生年月日						
昭和・平成 年 月 日	入 学 編 入 学 転 入 学		平成 年 月 日 令和	卒業・卒業見込 修了・修了見込		
成績証明書	出身学校所定の用紙を使用し、出身学校長(学長)が作成したものを添付してください。 また、成績の評価を評語で記入の場合は、下の右表に明示してください。					
学科内席次	1年	人中	位	平均点 注1)	1年	点
	2年	人中	位		2年	点
	3年	人中	位		3年	点
	4年	人中	位		4年	点
	5年	人中	位		5年	点
卒業研究 題 目						
在学 中 の 状 況	(人物・課外活動・生活態度等を記入してください。)					
	記入者職・ ^{注2)} 氏名				印	
上記のとおり相違ないことを証明する。						
令和 年 月 日						
学 校 名						
校長・学長氏名						
職印						

※印欄は記入しないでください。
注1) 平均点は、履修科目の平均点で小数第1位(小数第2位を四捨五入)まで記入してください。
注2) 例えば「〇〇学科5年担任」等と記入してください。

[都城高専用]

推薦による選抜用

受験番号 ※

令和 年 月 日

令和8年度 都城工業高等専門学校専攻科

推 薦 書

都城工業高等専門学校長 殿

学 校 名
職 名^{注)}
氏 名

印

下記の者は、学業成績、人物ともに優秀であり、貴校専攻科入学者としてふさわしい
資質をもつ者と認め推薦いたします。

記

1 出願者氏名

2 生 年 月 日

昭和・平成

年 月 日

3 志 望 専 攻

専 攻

4 推 薦 理 由 (志望動機、適性等)

※印欄は記入しないでください。

注)都城高専以外の場合は「学校長」、都城高専の場合は「〇〇学科5年担任」と記入してください。

[都城高専用]

企業の所属長等の推薦による選抜用

受験番号 ※

令和 年 月 日

令和8年度 都城工業高等専門学校専攻科
推 薦 書

都城工業高等専門学校長 殿

所 在 地

企 業 名

所属長職・氏名

印

下記の者は、勤務成績、人物ともに優秀であり、貴校専攻科入学者としてふさわしい
資質をもつ者と認め推薦いたします。

記

1 出願者氏名

2 生 年 月 日

昭和・平成

年 月 日

3 所属部課係

4 志 望 専 攻

専 攻

5 推 薦 理 由 (志望動機、適性等)

※印欄は、記入しないでください

[都城高専用]

受験番号	※
------	---

令和 年 月 日

出 願 承 諾 書

都城工業高等専門学校長 殿

所 在 地

企 業 名

所 属 長
職・氏 名

印

下記の者が、貴校の専攻科入学試験に出願することを承諾いたします。

記

出願者氏名

生 年 月 日

所 属 部 課

昭和・平成

年 月 日

※印欄は、記入しないでください

検 定 料 の 納 入 に つ い て

令和7年度都城工業高等専門学校学校の検定料については、添付の本校指定の「振込依頼書」をご利用くださいますようお願い申し上げます。
※指定の「振込依頼書」以外での振込は無効となりますので、ご注意ください。
なお、振込みの際には別途手数料が必要となります。

1. 検定料の振込みは、振込用紙の太枠内の志願者氏名欄を記入のうえ、金融機関の窓口にて振込み願います。
(ATMはご利用になれません。また、ゆうちょ銀行では口座からの振込はできませんが、現金による振込はできません。)
2. 振込みの手続きは、出願に必要な書類等を持参又は郵送する前に必ず行ってください。
3. 「振込金受取書」の銀行の出納印をもって本校の領収証書に代えさせていただきます。
なお、同受取書は、必要により確認することがありますので、大切に保管してください。
4. 「振込金受付証明書」は、別添の「振込金受付証明書貼付用紙」に貼付して、出願受付期間に提出してください。

本件に対する問い合わせ先：総務課財務係 TEL 0986-47-1121

振込依頼書
「都城工業高等専門学校学校」検定料「専攻科」
利用可能期間 令和7年4月1日(火)～令和7年8月22日(金)

令和	ご依頼日	科目	電信	取扱	手数料	円
振込先	宮崎銀行 都城営業部	金額	¥	1	6	500
受取人	口座番号 223067	複記欄				
預金種目	普通	振替科目	普通・当座・本部			
(フリガナ) コウセンキョウホンプ			振替			
(おなまえ)			科目			
志願者氏名	高専機構本部		お振込金受入区分(該当に○印)			
			現金・当座小切手等			
			預金払戻請求書・現金口座振替			
			精査印・捺印	捺印者印	(出納係印)	受付印
			(おとこ)			
			(電話)			

※【取扱金融機関へのお願い】
1. 出納印は、3ヶ所にもれなく押印してください。
2. 「振込金受取書」と「振込金受付証明書」は、必ず依頼人へお返しください。

宮崎銀行承認(事)124/45号 (取扱金融機関保管)

振込金受取書
「都城工業高等専門学校学校」検定料

令和	年	月	日		
金額	¥	1	6	500	
振込先	宮崎銀行 都城営業部				
受取人	高専機構本部				
志願者氏名	(フリガナ)				
手数料					

出納印	収入印紙
-----	------

(志願者保管)

振込金受付証明書
「都城工業高等専門学校学校」検定料

令和	年	月	日		
金額	¥	1	6	500	
振込先	宮崎銀行 都城営業部				
受取人	高専機構本部				
志願者氏名	(フリガナ)				

出納印

(検定料振込金受付証明書貼付用)

(検定料振込金受付証明書貼付用)

振込金受付証明書貼付用紙

(注) ゆうちょ銀行から振込んだ場合は、振込依頼書(お客さま控)を提出してください。

この枠内にのり
で貼付すること。

検定料を郵便局（ゆうちょ銀行）から振込む場合の注意点

検定料は郵便局（ゆうちょ銀行）からも振込むことができますが、以下の条件を満たす必要がありますので、ご注意ください。

- 1) ゆうちょ銀行から他の金融機関への振込みは口座からのみ可能で、現金による振込みはできません。ご利用の際は、『通帳とお届け印』または『キャッシュカード』が必要です。
- 2) ゆうちょ銀行から他の金融機関への振込は募集要項に添付されている振込依頼書を使用することはできません。窓口で「ゆうちょ銀行専用の振込依頼書（裏面参照）」を受け取り、記入していただく必要があります。
- 3) 振込後は「振込依頼書（お客さま控）」を受領し、出願書類と一緒に提出してください。

※ゆうちょ銀行の振込依頼書（サンプル）は、裏面を参照してください。

※ゆうちょ銀行専用の振込依頼書（サンプル）

振込先等については、下記のとおり記入してください。

8000034

振込依頼書（兼振替払出請求書）〔電信扱い〕

〔ゆうちょ銀行〕以外の銀行宛

振込規定及びゆうちょ銀行所定の関係規定に同意の上、依頼します。

▲ 貸付口座の場合は通帳に記載のある方のみご記入ください。

※料金は、振込金とは別に、払出口座の預り金からいただきます。

※お受取人負担のお取扱いはできません。

※印字欄は、該当の項目にレ印をつけてください。

※太枠からはみ出さないようにボールペンではっきりとご記入ください。

※九大工学部・九州
沖縄9高専連携教育
プログラムの場合は
30,000円と記入

ご依頼日	年 月 日	支店名	都城営業部
お受取人	宮崎	金額	¥16500
お名前	国立高等専門学校機構	振込金額	5万円未満
		料金(消費税込)	660円

おとこ	郵便番号	〒	
フリガナ			
おなまえ	必ず志願者本人の氏名を記入してください。		
ご依頼人	日中 ご連絡先 電話番号	通知 番号	
払出口座番号	記号		
払出口座 名義人 (代理人)	おとこ	おなまえ	

科目	取扱年月日	取扱時間	支払摘要
請求種別	取扱店番号	振込先	代行店番号
払出口座番号	お受取人 おなまえ	払出口座 名義人	ご住所
振込金額	円 振込料金	円 (消費税等を含む。)	
合計金額	円 払出明細番号		

振込なし: 1	本・代・使	本・代・法
通帳振込: 2	通帳	任・原
カード: 3		

(企業用)

(学 校 用)

(本人用)

(学 校 用)

(本人用)